

- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(70歳代男性)あり、症状は大腸粘膜異常所見です。本年の累積報告数は3例となりました。
- ・ 侵襲性髄膜炎菌感染症の報告が1例(30歳代女性)あり、症状は発熱、菌血症、咽頭痛、排尿時痛です。感染地域は国内、感染経路は飛沫・飛沫核です。本年初めての報告例です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(40歳代女性)ありました。症状は発熱、全身倦怠感、肺炎等で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は22例となりました。
- ・ 百日咳の報告が2例(10歳未満男性及び女性)あり、感染経路はいずれも不明です。本年の累積報告数は17例となりました。
- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は、前週の2.32(160例)から1.77(122例)に減少しました。
- ・ 伝染性紅斑の定点当たり報告数は、京都市が0.65、全国が0.58でした。京都市では昨年12月ごろから、全国では昨年8月中旬から、過去5年平均を上回る状態が続いており、動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <海外渡航先での感染症>

春休みやゴールデンウィークには海外で過ごす方が多くなり、感染症にかからないために、日本で発生していない感染症に対する知識も必要になります。蚊が媒介する感染症と麻しん(はしか)について取り上げました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 4例(肺結核 なし, その他結核 2例, 潜在性結核感染者2例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 61例(肺結核 21例, その他結核 14例, 潜在性結核感染者 26例)うち喀痰塗抹陽性 12例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:侵襲性髄膜炎菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 22例】
- ・ 五類:百日咳 2例【1月以降の累積報告数 17例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	1.77	122
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.53	238
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.14	49
	③ 伝染性紅斑	0.65	28
	④ RSウイルス感染症	0.26	11
	④ 咽頭結膜熱	0.26	11
	④ 突発性発しん	0.26	11
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <海外渡航先での感染症>

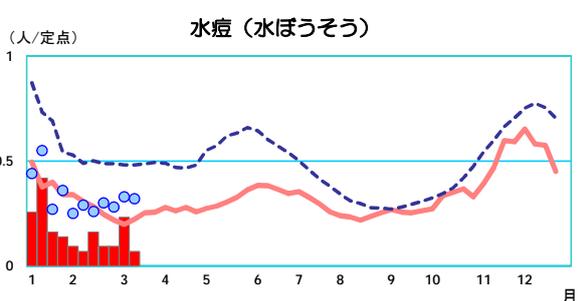
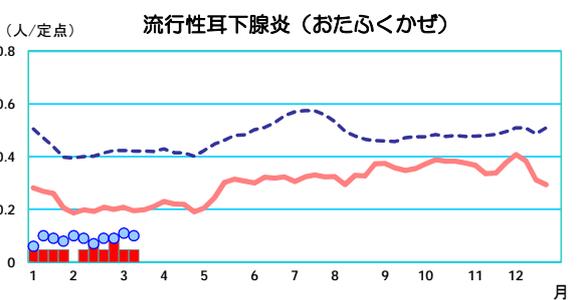
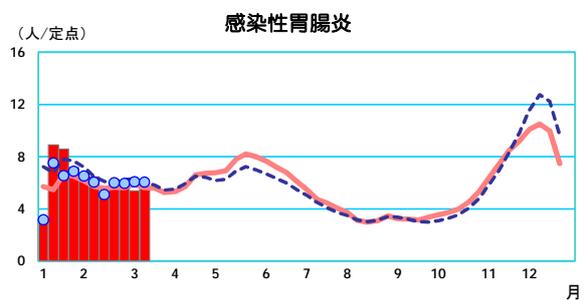
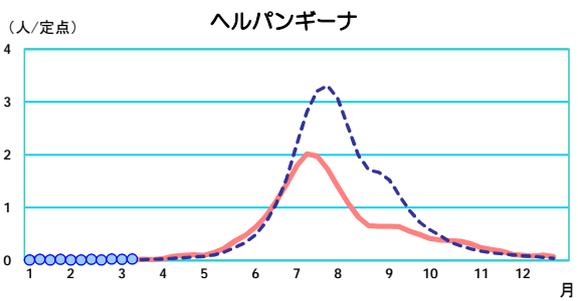
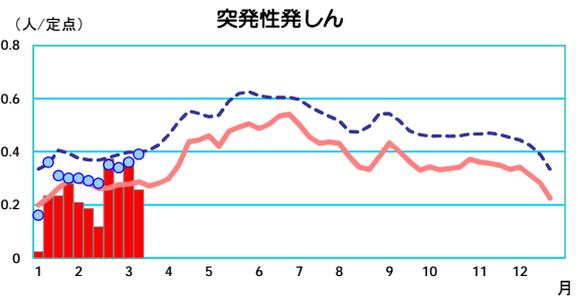
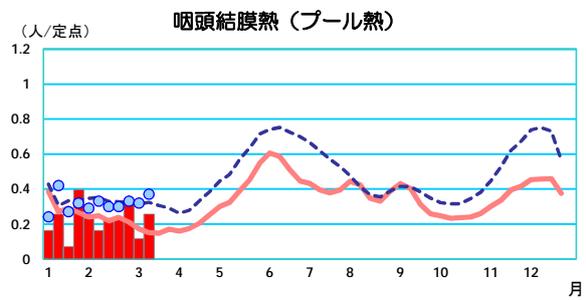
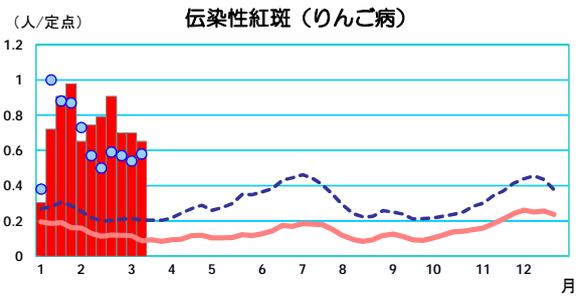
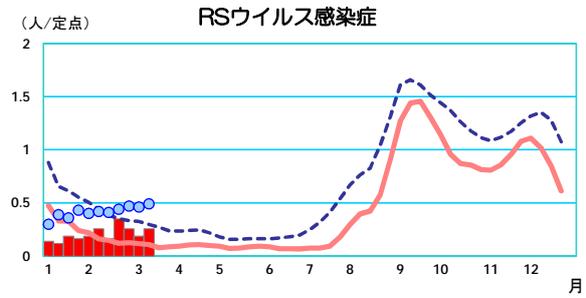
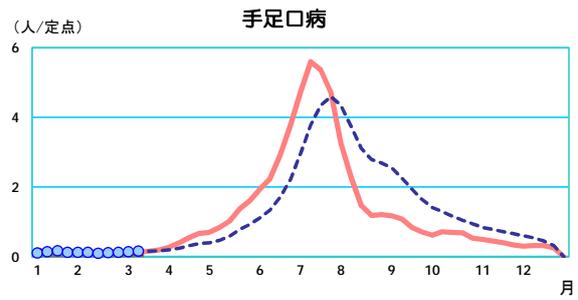
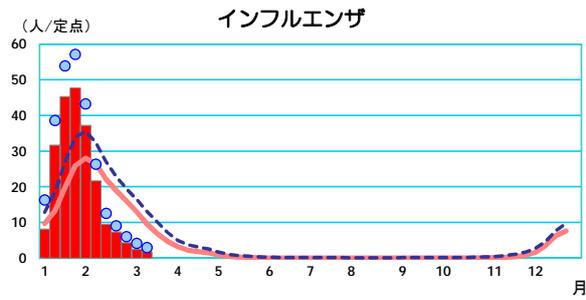
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年3月20日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第11週(3月11日～3月17日)トピックス: <海外渡航先での感染症>

春休みやゴールデンウィークには海外で過ごす方が多くなり、感染症にかからないために、日本で発生していない感染症に対する知識も必要になります。海外で注意しなければいけない感染症については、厚生労働省検疫所のホームページFORTH(フォース)に最新の情報が提供されています(<http://www.forth.go.jp/index.html>)。今回その中から、蚊が媒介する感染症と現在日本でも問題となっている麻しん(はしか)について取り上げました。

蚊媒介感染症は、流行地などにおいてウイルスを持った蚊に刺される事によって感染します。疾患により媒介する蚊の種類が異なり、デング熱、チクングニア熱及びジカウイルス感染症はヒトスジシマカ、ネッタイシマカに、黄熱は主にネッタイシマカ、日本脳炎はコガタアカイエカ、マラリアはハマダラカに媒介されます。いずれも予防方法は虫よけローションの使用、長袖・長ズボンの着用等、まず蚊に刺されないようにすることが重要です。また、黄熱や日本脳炎にはワクチンもあります。黄熱は予防接種証明書を携帯していないと入国できない国や、複数の国を渡航する場合に予防接種証明書の提示を求められる国があります。感染症別のリスクがあるとされる地域を図1に示しています。これらの地域への渡航の際には事前に検疫所のホームページを確認し対策を行ってください。

麻しんは、空気感染・飛沫感染・接触感染で次々に伝播する、重篤となりやすいウイルス性の疾患で、感染者の5人に1人は中耳炎、肺炎、脳炎などの合併症を起こします。

日本近辺の西太平洋地域の麻しん発生状況の2013年12月から2018年12月の推移(図2)を見ると、報告数の多かった国々でのワクチンキャンペーン等により年々減少しています。しかしながら、毎年3月～5月に流行のピークが見られ、これからの時期には特に注意が必要です。

日本は、WHOにより2016年3月に麻しん排除状態にあることが認定されましたが、それ以降散発的な発生が繰り返され、今年については商業地での発症事例もあり感染が拡大しています(図3)。麻しんは、生涯2回のワクチン接種で免疫力が得られます。定期接種対象年齢の方はもちろんですが、海外への渡航に際しては、ワクチン接種歴等を確認の上、必要に応じて渡航前にワクチン接種を行うことを推奨します。

図1 蚊が媒介する感染症のリスクがあるとされる地域

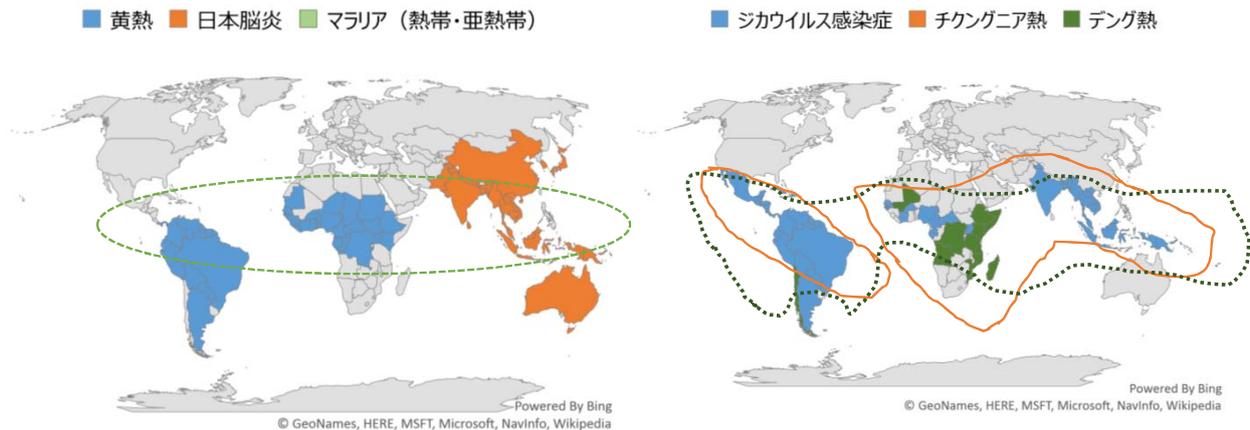


図2 2013年～2018年の西太平洋地域麻しん発生状況の推移

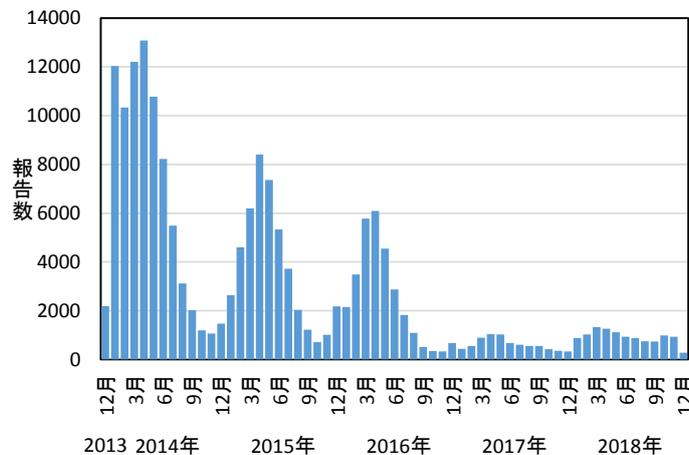
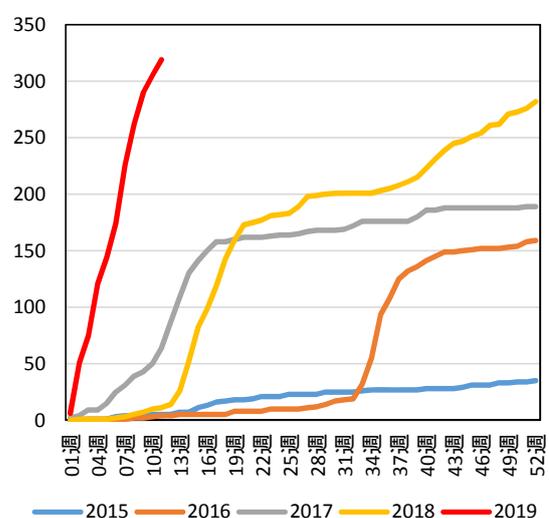


図3 日本の麻しん累積報告数の推移



※WHOホームページのMeasles-Rubella_Bulletin_2015_Vol09_No-07
～Measles-Rubella_Bulletin_2019_Vol13_No-01より引用

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第11週

疾病,行政区別報告数

2019年3月11日～2019年3月17日

データ入手日:2019年3月20日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-					
上京	4	-	1	4	9	-	-	1	-	-	-	-	-					
左京	14	4	-	6	13	1	-	3	-	-	-	-	-					
中京	11	-	1	3	5	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	7	1	-	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	17	-	2	3	2	-	1	2	4	-	1	-	-					
下京	5	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-					
南	11	1	-	10	25	1	-	4	-	-	-	-	-					
右京	12	2	2	10	49	-	-	10	2	-	-	-	-					
伏見	27	3	5	9	76	1	3	3	3	1	1	-	-					
西京	10	-	-	4	35	-	-	3	-	-	-	-	-					
京都市計	122	11	11	49	238	3	5	28	11	1	2	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	0.57	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-					
上京	0.80	-	0.33	1.33	3.00	-	-	0.33	-	-	-	-	-					
左京	2.00	1.00	-	1.50	3.25	0.25	-	0.75	-	-	-	-	-					
中京	2.20	-	0.33	1.00	1.67	-	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.33	0.50	-	-	11.50	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	2.43	-	0.40	0.60	0.40	-	0.20	0.40	0.80	-	0.20	-	-					
下京	1.67	-	-	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-					
南	2.20	0.33	-	3.33	8.33	0.33	-	1.33	-	-	-	-	-					
右京	1.50	0.40	0.40	2.00	9.80	-	-	2.00	0.40	-	-	-	-					
伏見	2.45	0.43	0.71	1.29	10.86	0.14	0.43	0.43	0.43	0.14	0.14	-	-					
西京	1.25	-	-	0.80	7.00	-	-	0.60	-	-	-	-	-					
京都市計	1.77	0.26	0.26	1.14	5.53	0.07	0.12	0.65	0.26	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第11週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年3月11日～2019年3月17日

データ入手日:2019年3月20日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	122	-	-	7	2	7	10	4	2	10	5	7	27	6	12	5	6	4	1	4	3
RSウイルス感染症	年齢3	11	5	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		11	-	1	1	1	3	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		49	-	-	-	2	2	9	4	2	9	5	2	7	-	7	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		238	5	12	33	38	21	29	18	17	13	10	10	13	1	18	-	-	-	-	-	-
水痘		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		5	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		28	-	-	1	1	3	4	11	5	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		11	1	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1.77	-	-	0.10	0.03	0.10	0.14	0.06	0.03	0.14	0.07	0.10	0.39	0.09	0.17	0.07	0.09	0.06	0.01	0.06	0.04
RSウイルス感染症	年齢3	0.26	0.12	0.02	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.26	-	0.02	0.02	0.02	0.07	0.02	0.02	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.14	-	-	-	0.05	0.05	0.21	0.09	0.05	0.21	0.12	0.05	0.16	-	0.16	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		5.53	0.12	0.28	0.77	0.88	0.49	0.67	0.42	0.40	0.30	0.23	0.23	0.30	0.02	0.42	-	-	-	-	-	
水痘		0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.12	-	-	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.65	-	-	0.02	0.02	0.07	0.09	0.26	0.12	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.26	0.02	0.07	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第11週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年3月20日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	1,493	652	500	293	160	122
RSウイルス感染症	11	7	15	11	8	11
咽頭結膜熱	7	10	10	14	5	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	52	57	47	46	49
感染性胃腸炎	278	213	259	249	232	238
水痘	3	7	4	4	10	3
手足口病	3	3	3	5	3	5
伝染性紅斑	32	34	39	30	30	28
突発性発しん	8	5	16	12	16	11
ヘルパンギーナ	3	-	-	1	3	1
流行性耳下腺炎	2	3	2	4	2	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	3	1	2	1	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,900	989	906	672	516	481

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	21.64	9.45	7.25	4.25	2.32	1.77
RSウイルス感染症	0.26	0.16	0.35	0.26	0.19	0.26
咽頭結膜熱	0.16	0.23	0.23	0.33	0.12	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.35	1.21	1.33	1.09	1.07	1.14
感染性胃腸炎	6.47	4.95	6.02	5.79	5.40	5.53
水痘	0.07	0.16	0.09	0.09	0.23	0.07
手足口病	0.07	0.07	0.07	0.12	0.07	0.12
伝染性紅斑	0.74	0.79	0.91	0.70	0.70	0.65
突発性発しん	0.19	0.12	0.37	0.28	0.37	0.26
ヘルパンギーナ	0.07	-	-	0.02	0.07	0.02
流行性耳下腺炎	0.05	0.07	0.05	0.09	0.05	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.30	0.10	0.20	0.10	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	31.26	17.52	16.76	13.21	10.67	10.12

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。